

第1期 国分寺市公民館運営審議会 平成 27 年度第 9 回（臨時）定例会

要点記録

日 時 平成 28 年 3 月 18 日（火）午後 3 時～ 4 時

場 所 平塚市中央公民館 会議室

出席者

委員 佐藤委員長・田中(英)副委員長・長谷部委員・橋本委員・戸澤委員・田中(雅)委員（欠席者 5 人）

職員 山崎公民館課長兼本多公民館長・野中恋ヶ窪公民館長・豊泉もとまち公民館長・木場並木公民館長・秋元本多公民館事業係長

1 報告事項

事務局：教育委員会委員と公民館運営審議会委員の面談を，7 月 27 日（水）午後 4 時から 5 時の日程でお願いしたい。どんな内容にするかは今後相談していただきたい。

事務局：3 月 16 日に日本公民館学会の依頼で，東南アジアの生涯学習センター長が本多公民館を視察した。秋ごろに団体で再度訪問したいとの要望がある。

2 協議事項

（1）管外研修の振り返りについて

委員：地域によって特色があることがわかった。地域に福祉村や自治会などの土壌があり，地域づくりを市が行ったという感想を持った。

委員：この研修を通して，住民にとってどのように活かしていくべきか資料をじっくり読みなおしたい。

委員：縦割りの行政の中，平塚市では協働推進課と公民館が一緒に実施したことを評価したい。市民と一緒に公民館ができる仕組みづくりを考えていきたい。

委員：自治会との関係で勉強になった。市には協働コミュニティ課があり自治会と連携している。公民館がいかに絡んでいけるかが課題であると思った。

委員：とても面白く聴かせてもらった。公民館の内側から，まちづくりの事業を行うことは，それぞれの一般行政と連携することが重要であると改めて感じた。一般行政はそれぞれ縦割りなので，それをつないだ学習の場は公民館でしかできないと思う。市民活動センターとの連携も検討した方がよい。

館長：平塚市の取り組みを紹介していただいた。地域づくりの講座を実施するうえで，関係各課との連携するイメージができた。唯一，NPO の市民団体が当市で何にあたるのか思いつかない。しかし，非常に勉強になった。

館長：公民館だけでは実施できず，いろいろな方や関係部署と連携していくことが大切であると感じた。

館長：公民館は、個人との連携には力を入れてきたが、市内で活動している団体や市内組織との連携は弱かったと思った。

委員長：自治会長が参加しても個人として見ているので、代表としての発言とは限らない。地域会議では違うかもしれないが、今回の平塚市の取り組みは、自治会に一番足りない振り返りや、無関心な市民と自治会との関係を考えるきっかけとして、市民団体と連携することで、うまくいった例だと思う。

委員：湘南 NPO サポートセンターは平塚市市民活動センターが運営する団体か。

委員長：平塚市に住所のある団体であると思う。

委員：国分寺市にある市民活動センターは委託か。

事務局：直営である。協働コミュニティ課が所管している。市民グループからの提案内容を行政に伝え橋渡しをしている。

委員：市民活動センターでは、年に数回、自治会や登録している NPO 法人と情報交換やテーマを決めて講師を呼んで講演会を実施し交流し、年 1 回お祭りを行っている。市の後援をもらうときは申請し、聞きたい団体の情報を公開していれば収集している。まちづくりサポートセンターの隣にある。

委員長：まちづくりサポートセンターは直営か。

事務局：直営ではないが、都市建設部が管轄している。

委員長：福祉村は、小さな地区での活性化に力を発揮するものかもしれない。まちづくりのテーマを考えるうえで、どこと組んで行うのが重要になる。

事務局：地域福祉計画については、自助・共助・公助に関係を重要視している。環境や防災は、地域の防災学校や防災推進員が取り組んでいる。そういう面を十分理解し、公民館が考える地域づくりをどのように進めていくか検討していきたい。

委員長：立川市では音楽の街づくりを進めている。文化行政と組みやすいのでは。

事務局：国分寺市は武蔵国分寺があり、ペンシルロケット・宇宙開発発祥の地を進めている。地域が公民館を中心にまとまっていく地域づくりはどのように考えていくかが課題であると思う。

委員長：今までの公民館の蓄積から、どのようなまちづくりを発信することができるのか。そのためにどういう団体や市役所の部署と手を組むべきかを研修で教わった。あまり苦労していない様子であったことが印象的であった。

館長：平塚市は、市長部局の事業に公民館がのった様子であった。公民館がこのようなこともできるという PR が大切であると思った。

委員長：学習や文化が好きな方が公民館を利用して、一部の方が利用していると言われている。

委員：市民感覚では、まちづくりの要素に公民館が結びつかない。公民館があって、それがまちづくりにつながることで市民に理解できると、公民館の利用の仕方も変わると思う。

委員：公民館で幼い子がいる親のための教室から学校の PTA、公民館を通した市民とのつながりは、わりとスムーズに理解できる。

委員長：公民館における女性の利用における成長は理解できる。

委員：自治会でも女性の会長を入れる仕組みづくりを検討している。公民館の情報を自治会で流している。

委員長：今は、ただ情報を流しても参加が増えるのではなく、プロジェクトで参加型にしないといけないと思う。つながりをどのように核にするのか4月から絞っていきたい。

委員：他の部局で学習事業的なものは何を行っているのか明らかにしていただきたい。

委員長：葛飾区では、区民開示で、防災課が環境保全事業や人権課が女性参画を区民開示に入れて一覧ができています。幅が広い。

委員：NPO 団体や市民活動団体へ公民館利用を PR してはどうか。

委員長：市民活動団体への助成制度ではないが、公民館の部屋もこのように使えますという呼びかけを協働コミュニティ課へ情報提供することが大切になると思う。次回の予定は。

事務局：4月19日午後3時から5時まで。公民館に長く務めていた元職員を呼び、公民館50周年記念誌を基に、国分寺市の公民館が市民の学習をどのように支援してきたかについて話をする。

委員長：それ以降は、どのように決まったか。

事務局：開催日は第3火曜日に決まった。4月に入り、今後の組み立てを相談したいと考えている。

(2) 平成28年度東京都公民館連絡協議会定期総会への出席依頼について

事務局：平成28年度東京都公民館連絡協議会定期総会が、4月20日(水)午後2時から3時30分、本多公民館ホールで開催する。評議委員と監査委員を決めていただきたい。

評議委員…長谷部委員・田中(英)委員に決定

監査委員…長谷部委員に決定

委員長：以上で会議を終了する。